

# 月刊 ととろ



独立行政法人国立病院機構  
いわき病院

## 第184号

令和元年6月発行

National Hospital Organization Iwaki National Hospital

### 信条

- ◆ 患者さま本位の医療を行います
- ◆ 患者さま及び家族の生活を大事にします
- ◆ 科学的根拠に基づいた質の高い医療を提供します

## 令和元年度 第1回地域連携研修会

令和元年6月4日、新病院になって初めての地域連携研修会が、当院会議室で開催されました。リハビリテーション科では、平成29年度より導入しているロボットスーツ HAL®の実績報告とリハビリテーション室の紹介をさせていただきました。

ロボットスーツ HAL®は年間約30件の実施件数となっており、リピーターの患者様も多くなってきている状況です。また、新規の患者様に関しても昨年度は5名の方に HAL®を使用した歩行練習を実施する事が出来ました。HAL®での歩行練習実施後、歩行スピード、歩行距離等の改善がみられ、患者様からは「歩きやすくなった」、「歩く感覚が戻った」、「立ち易くなった」などの評価を頂いております。

また、新病院には長さ22mの天井走行式リフトが設置されており、実際の練習風景の動画を見ながら説明させていただきました。リフトにて牽引されているため転倒するリスクは無く、安心して歩行練習を実施する事が可能であるため、様々な疾患の患者様に使用可能です。

今回の地域連携研修会に参加して頂いた方からは、HAL®の今後の経過が知りたいなど、興味を持って頂くことが出来たのではないかと感じました。HAL®による治療は対象疾患も限られていますが、患者様の期待に応えられるよう研鑽を重ねていきたいと考えております。

今後もリハビリテーション科の活動は、研修会などで報告していきたいと考えております。当院のリハビリにご興味のある方は、是非お問い合わせいただきたいと思います。

理学療法士：鈴木 一恵





## 当院のCT・MRI 共同利用について



3T-MRI (フィリップス Ingenia)

今年2月の新築移転に合わせて16列 MultiDetectorCTと3TeslaMRIを新たに導入致しました。今回はこの装置の共同利用についてお話します。

CT・MRI共に一般的には高額医療機器と呼ばれるものです。特に3TeslaMRIは地域的に見ても当院を含め2台しか導入されていません。当院の環境は皆さんがご存じの通り神経難病をメインにしていますから、脳～神経系の診断が主になります。装置は脳以外でも四肢の関節や脊柱、肝胆のう系他、耳鼻科、泌尿器科、婦人科系など様々な分野で使用できますから一部の能力しか使わないことになります。また国立病院機構職員はいわゆる転勤族ですから、がん拠点病院の仙台医療センターや整形外科を得意とする国立病院などで何年も撮

影を行ってきた主任以上の経験豊富なメンバー（MRI専門技術者認定取得者を含む）で構成されていますから、人的資産も神経関係だけで使用するのはいらない話です。これらの能力を地域医療へ生かすためにと企画されたのが「共同利用」というやりかたです。

「共同利用」の全体像についてお話しましょう。

今まで、撮影してもらおうと他病院にお願いするときは患者として紹介していました。受ける側も自分の病院の患者として受け入れ、撮影したわけです。この場合患者さんは、CT・MRIの撮影にかかわる費用の他に診療情報提供料や初診料などの金銭的負担をし、診察をして医師が指示を出して撮影となるため時間もそれなりに必要となっていました。しかし共同利用では違います。オーダー病院スタッフが電話で撮影日時を予約したら、その時間に行って撮影して帰るだけです。いくつかの書類の手続きはありますが、お財布にも時間にも優しい検査なのです。

撮影手続きの細部を説明します。

まず撮影の必要が生じた施設が当院の地域連携室へ電話し日時の調整を行います。そのとき患者さんの情報や撮影後の画像・レポートの扱いについていくつかの選択肢から選ぶことになります。次に必要な書類をFAXで送受信した後、患者さんは指定した日時に当院へ来院します。当院の総合受付で共同利用と告げていただくと放射線科をご案内いたします。放射線科受付はバーコードによる自動受付です。診療放射線技師が撮影し終了したら会計することなく帰宅となります。撮影にかかわる会計はオーダーした病院で行います。MRIを持っていなくてもMRIの診療報酬請求を行い収入を確保できるのです。ここで重要なのはオーダー病院と当院が契約を結ぶということです。最初に契約を結ぶことでオーダーが可能になります。当院への支払いは、当院が発行する1ヵ月分をまとめた請求書に基づきお支払いいただくこととなります。つまり患者さん、オーダー病院、当院の三方両得となるのです。

画像とレポートの授受について、いくつか方法がありますのでご説明します。

まず読影レポートです。

当然画像だけあればよいという施設もあるかと思いますがその時は撮影だけとお知らせください。また内臓脂肪とVSRADはワークステーションによる解析で判断基準が示されていますので読影の必要はありません。さて、読影は放射線科の読影医が行います。当院には読影医が不在ですので遠隔読影により行っています。契約しているのは大阪公益財団法人田附興風会医学研究所 北野病院の放射線科医の方々です。ホームページを見ていただくとわかるのですが大きな総合病院で広い範囲の診療科で活躍しています。およそ24時間でレポートが返ってきます。当院ではそれをまずFAXで送り、同時に郵送も致します。ただし、画像CDもレポートと一緒に、という方には画像CDにデータとして同梱し郵送します。

画像の授受については3種類あります。

まず患者さんへCDを渡す方法です。撮影後すぐにオーダー病院へ向かうようなときには便利なやり方で、



15分もあれば作成しお渡しできます。欠点としては移動中壊したり無くしたりする可能性があることです。郵送する方法も選べます。壊したり無くしたりの可能性は少なくなるとは思いますが、到着まで1～2日かかりますので、急ぐ方には不向きです。3つ目の方法はNTT あずけーる Pro によるWeb配信です。Web上にあるセキュアなフォルダを介してお渡しする方法で、当院からのアップロードとオーダー病院でのダウンロードにより受け渡しができますので、画像枚数によりますが撮影後1～2時間程度で見ることができます。

NTT あずけーる Pro についてお話しておきましょう。

NTT 回線内部のセキュアな部分に作成するフォルダのことで、登録したIDとパスワードを持つ方だけが使用できます。問題点としては光回線が必要なことです。元々光回線を持っている場合はプラス500円/月で使用できるので早し便利ですしコストパフォーマンスも良いです。画像の他、読影レポートもデータとして置けますから、かけ間違いのあるFAXを使うよりも安心できます。ご検討ください。

最初の方でも書きましたがCT・MRIは高額医療機器です。近隣の医療機関の方においては当院の装置を使うことで、大きな投資を行うことなくコストパフォーマンスの高い診療を行うことができます。ぜひ使用していただき、地域医療連携の一助となることを願います。

診療放射線技師長：齋藤 雅伸



16列-CT (キヤノン Aquilion™ Lightning)



## 新病院で初めての防災訓練

5月28日、新病院に移転してから初めての防災訓練が行われました。災害発生時対応マニュアルを確認し、何度も病棟から避難経路を歩き回り消火器や消火栓、防火扉の位置をスタッフみんなで確認しながらのシミュレーションを行い当日に備えました。それでも、いざ防災訓練が開始となると練習の時は出来ていたことを忘れそうになったり、思うように避難誘導ができなかった場面もありました。そこで改めて病院火災は絶対に起こしてはいけない事で、それでも万が一の時は、迅速な対応できるよう日頃からの備えが大切だと実感しました。防災の面からも患者さんやご家族に安心して過ごして頂ける病院を目指して引き続きスタッフみんなで取り組んでいこうと決意を新たにしました訓練でした。

第3病棟 看護師長：高橋 佑果



## NHO PRESS ~国立病院機構通信~



いわき病院は、全国 141 病院からなる国立病院機構 (NHO: National Hospital Organization) のひとつです。

NHO では各病院の活動を紹介する『NHO PRESS』を発行しています。

外来待合室などに設置しています。ぜひご覧になってください。

国立病院機構ホームページでは最新号と過去の『NHO PRESS』を掲載しています。

NHO PRESS

検索



## いわき病院の診療体制等について

- 診療科目 内科、脳神経内科、外科、脳神経外科、小児科 (小児神経疾患)、リハビリテーション科
- 外来受付 8:30~11:30 (ただし、救急患者は随時受け付けております。)
- 診療時間 8:30~17:15

### 外来担当医師診療日程表 【平成31年4月~】

区分	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	内科 診察室① 鈴木 診察室② 市原	内科 診察室① 無量井(第2)	内科 診察室① 鈴木 診察室② 齋	内科 診察室① (交代制)	内科 診察室③ 仙台医療センター
	脳神経内科 診察室③ 尾田宣仁	脳神経内科 診察室③ 會田隆志	脳神経内科 診察室③ 尾田宣仁	脳神経内科 診察室① (交代制)	脳神経内科 診察室① 関 晴朗
	外科			外科 診察室② 田崎 博	
脳神経内科専門外来 (予約制)					
午後	神経難病 神経筋疾患 《診察室①》		(神経内科) 関 晴朗		
小児神経外来 (予約制)					
午後	小児神経外来 《診察室①》 (小児科) 柳沢俊郎				(小児科) 柳沢俊郎



### お知らせ

#### ◆患者相談窓口

患者さんやお見舞いの方などからの苦情・相談については、『患者相談窓口』と『ご意見箱』で対応しています。なお、皆様にお知らせした方が良い内容のものは、外来掲示板に掲載しています。

#### ◆当院受診について

他の医療機関に通院中の方は、主治医の先生に当院病診連携を通して診療予約をとって頂いた上で来院願います。



発行元 **独立行政法人国立病院機構 いわき病院**  
 National Hospital Organization Iwaki National Hospital  
 責任者 院長 関 晴朗  
 新所在地 〒971-8126 福島県いわき市小名浜野田字八合 88 番地 1  
 TEL 0246-88-7101 FAX 0246-88-7075  
 ホームページ <http://iwaki-hosp.jp/>